

外国語選択ガイド

選択した外国語によってクラス編成を行います。希望する外国語を第1希望から第3希望まで決定しましたら、UCAROの「本人情報」から入力してください。なお、UCAROは手続きを開始してから30分以上操作しない場合、自動的にタイムアウトになりますので、注意してください。

【外国語科目について】

○ 理工学部では、以下のとおり外国語科目が設置されています。

第一外国語 「英語」

第二外国語 「ドイツ語」「フランス語」「ロシア語」「中国語」

○ 第一外国語の「英語」は必修科目ですので、入学者全員が履修します。

○ 第二外国語は上記4科目のうち1科目が必修科目となりますので、いずれかの科目を選択・履修することになります。（複数の第二外国語の履修はできません。）

○ 第二外国語の選択にあたっては、第三希望まで記入してください。選択した外国語によりクラス編成を行います。編成の都合上、必ずしも第一希望の外国語になるとは限りません。

○ 入学手続き時に届け出た第二外国語の変更は、一切認められません。

○ 母国語は選択できません。（例：中国国籍の方は「中国語」の選択不可）

○ 次ページ以降に各科目の紹介がありますので参考にしてください。

選択外国語（第二外国語）科目名

ドイツ語	フランス語
ロシア語	中国語

◆ドイツ語

新入生の皆さん、大学でドイツ語を始めてみませんか？ ドイツ語は、主にドイツ・オーストリア・スイスで公用語として話されている言葉で、ヨーロッパで現在1億人以上がドイツ語を母語としています。

皆さんがドイツ語圏について知っていることはどんなことでしょうか。ドイツといえばビールやソーセージ！ バッハ、モーツァルト、ベートーヴェンなどのクラシック音楽家の国？ それともドイツ語圏はサッカーや卓球、スキーなどスポーツの国としての印象があるでしょうか。ドイツではやはりサッカーが圧倒的に人気で、人口約8000万人のうち700万人ほどが地域のサッカークラブに所属しているそうです。

皆さんにドイツ語をおすすめしたい理由は、ドイツは科学の国でドイツ語は重要な科学の言葉だからです。2021年まで16年間ドイツを首相として率いたアンゲラ・メルケルは旧東ドイツの大学で物理学を専攻した元科学者です。ケプラー、ガウス、メンデル、ベンツ、アインシュタインなど皆さんが知る歴史上の科学者の多くがドイツ語圏出身です。医学用語の「カルテ」や「ギプス」、実験器具の「シャーレ」や「メスシリンダー」など日本語にはドイツ語を語源とする単語がたくさんあります。理工学部に入學する皆さんにとってドイツ語はとても縁のある言葉なのです。理工学部にはドイツで研究をされたことのある先生がたくさんいます。ぜひドイツでの生活を先生たちから聞いてみてください。皆さんもいつかドイツで研究を続ける日が来るかもしれません！

言葉を知ることは文化を知ること、人を知ること。ドイツ語を通して、言葉の向こう側にあるドイツ語圏の人々の暮らしに触れてみませんか？

◆フランス語

まずはみなさん、合格おめでとうございます。明治へようこそ！

さて、フランス語です。フランス語は、もちろんフランスで話されている言葉です。花の都パリ♥でショッピングするなら、カフェでまったりするなら、そしてルーブルで感嘆するときにも、「ボンジュール！」とか「セ・ボン！」とか「トレ・ビアン！」とか（笑顔とともに）言ってみれば、パリはぐっとみなさんに近づいてくるでしょう。でもフランス語は、そこで終わりではありません。

実はフランス語を使う地区は、世界五大陸のどこにもあります。カナダのケベック州、タヒチ、ニューカレドニア、そしてドログバ選手（←知らない？即検索！）を生んだコートジボワールもまた、フランス語圏なのです。たとえカタコトでもフランス語が使えれば、パリジャンやパリジェンヌだけでなく、ポリネシアやアフリカの人たちと会話することもできるのです。それは、豊かで素晴らしい経験です。

フランス語はムズイとか、フランス人は気取っているとかいうのは、完全な都市伝説です。なにもネイティブと同じに話すことはないんです。外国語なんですから、「マチガイ上等！」を合言葉に、楽しく学んでいきましょう。最新のフランス文化事情も、たっぷりご紹介します。では、教室で待っています！

◆ロシア語

どうしてあえてロシア語？ こんな時代に？ そう思われたかもしれませんが、でも、ロシア語を選択肢から消してしまう前に、少し一緒に考えてみていただきたいのです。

Ж、Ф、Ш、Ю、Я…これらはロシア語の文字です。読めない人がほとんどでしょう。文字だけではなく、文化や習慣、世界観も、ロシアは謎だらけです。19世紀のチュッチェフという詩人は、ロシア人でありながら「ロシアは頭では分からない／並の尺度では測れない」と書いていますが、ロシアはいつも人々の理解を超えていきます。そんなロシアは、最近は特に親しみにくい国になってしまいましたが、紛れもなく日本の隣国なのです。

謎に包まれながら、アジアからヨーロッパにまたがり、世界最大の国土を持つその存在は一見不気味でしょう。でも、そこで生まれた文学や音楽など芸術には素晴らしいものがあります。理系の分野に目を向ければ、宇宙開発の最先端を担っています。政治に翻弄されながらも、ロシアの人々は文化や科学技術など様々な分野で、並外れた創造力を発揮し、世界の歴史に残る革新的な成果を生み出してきました。そこには、恐ろしいだけではない、人間味ある、同時に超人的なエネルギーを秘めたロシアがあります。ロシア語を学び、新鮮な驚きに満ちた未知の世界をのぞいてはみませんか。

◆中国語

日本に住む外国人のうち、国籍別で最も多いのは中国人です。訪日外国人旅行者の国籍別内訳を見ると、ベスト5の中に中国、台湾、香港と中国圏の国/地域が3つ入るばかりか、6位と7位のシンガポール、マレーシアでも中国語は広く使われています。日本で学ぶ外国語として、英語の次に需要が高いのは中国語だと言って差し支えないでしょう。

中国語は文法がシンプルで日本語と共通の語も多く、すでに持つ漢字の知識を応用すれば、高度なレベルまで短期間で駆け上がることも夢ではありません。さらに中国語の特徴として、一つ一つの音節がメロディの一部をなす「トーン=声調」を持つことが挙げられます。単語学習は歌のフレーズを覚えるようなもの。スマホなどで音源にアクセスし、歌のレパートリーを増やすように楽しみながら、言葉を学んでいくことができるのです。

新しい外国語に触れるのは、大学に入学する今がチャンス。みな一斉に、ゼロからのスタートです。明治大学理工学部では日本人と中国語ネイティブの教員がペアを組み、発音と文法の指導を行います。それでは中国語教室でお会いしましょう。